

令和 8 年度薬物乱用対策事業計画

1. 事業計画総括表

群馬県薬物乱用対策実施要綱及び令和 8 年度群馬県薬物乱用対策実施要領に基づき、次の計画内容のとおり、(1)各種啓発活動の強化、(2)取締りの強化及び厳正処分、(3)再乱用防止のための措置を薬物乱用対策の 3 本柱として、薬物乱用対策推進本部関係団体及び関係機関が各種事業を実施する。

計画内容	
(1) 各種啓発活動の強化	各種キャンペーン等啓発活動（啓発活動の拡大と充実）
	教育現場における啓発活動（薬物乱用防止教室、生徒指導等）
	各種運動や会議・講習会等の活用（啓発資材配布、広報啓発等）
(2) 取締りの強化及び厳正処分 （乱用者に対する取締りや青少年に対する補導、密売等の取締り、厳正な処分等）	
(3) 再乱用防止のための措置 （保護観察の充実強化、相談窓口体制の充実と一般への周知徹底、薬物依存症患者の支援強化等）	

2 事業計画【参考】（機関・団体別）

機関・団体名	事業（行事）名	実施	対 象 者	対象人員	概 要
		予定日			
前橋地方検察庁	捜査・公判活動 （薬物乱用事犯者及び 規制薬物流通事犯者に 対する厳正な検察権の 行使）	通年	薬物乱用事犯 者 規制薬物流通 事犯者	400～500名	1 関係機関との連携強化及び捜査手 法等に関する情報共有の推進を図り、 薬物事犯の取締りを強化。 2 厳正な科刑の獲得のため各種法令 の適用に努め、犯罪収益等の剥奪を徹 底し、同種事犯の再犯防止に努める。 3 裁判員裁判で分かりやすい立証方 法を配慮することにより、薬物事犯の 社会に与える悪影響の理解を得る。
前橋保護観察所	薬物再乱用防止プログ ラム	毎月3回	規制薬物等及 び指定薬物の 所持又は使用 等の罪を犯 し、プログラ ムの受講を義 務づけられた 保護観察対象 者	のべ120人	ワークブック等を用いて、依存性薬物 の再使用を防ぐために必要な知識や具 体的な方法をグループ受講形式で学ば せるとともに、簡易薬物検出検査（だ 液又は尿検査）を実施する。
	引受人会・家族会	令和8年度下半期に1 回	薬物事犯によ り受刑中の引 受人及び担当 保護司並びに 薬物事犯によ り保護観察中 の家族等及び 担当保護司	25人	ダルク職員等を講師に招き、引受人や 家族等が、依存症についての知識や理 解を深めことができる「引受人会・家 族会」を実施する。
前橋少年鑑別所	非行や犯罪の防止を目的 とした講演研修の実 施	通年	未定	未定	未定
群馬労働局 労働基準部 健康安全課	全国労働衛生週間準備 期間における趣旨説明 会	9月1日～30日	県内事業場	約2,000人	有機溶剤等の有害物質の適正な管理と 労働者の健康障害防止に係る意識高揚 を図る
	全国労働衛生週間 本週間	10月1日～7日	県内事業場	約75万人	有機溶剤等の有害物質の適正な管理と 労働者の健康障害防止に係る意識高揚 を図る
	事業場に対する監督安 全衛生指導	通年	県内事業場	約200社	有機溶剤等の有害物質使用事業場に対 して、労働安全衛生法に基づく指導を 実施する
	化学物質管理強調月 間	2月1日～28日	県内事業場	約75万人	職場における危険・有害な化学物質管 理の重要性に関する意識の高揚を図る とともに、化学物質管理活動の定着を 図る。
東京税関 前橋出張所	水際対策強化への協 力依頼	5月15日～29日	前橋地区保稅 会・通関協議 会、物流業・ 倉庫業従事 者、報道機関	29社	輸入貨物等に係る厳格な保管・管理に かかる自主警備の強化依頼、水際取締 強化への協力依頼、及び情報提供依頼 を実施する。
	密輸防止キャンペー ン	5月22日	一般市民	約400人	不正薬物の密輸に関与し ないよう注意喚起するた めリーフレット等を配布 する
	前橋地区保稅会・通関 協議会定時総会	6月4日	前橋地区保稅 会・通関協議 会	約20社	最近の税関行政の動向についての説明 及び情報提供依頼を実施する。

	「ホリデーインまえばし」におけるステージ参加	8月30日	一般市民	約300人	薬物乱用防止に向けた啓発活動として東京税関音楽隊による演奏及び麻薬探知犬によるデモンストレーションを実施する。
	税関教室	7月～3月	小中学生	各学校約100人	薬物乱用防止をテーマとした講話及び麻薬探知犬によるデモンストレーションを実施する。
	年末特別警戒期間の協力依頼	12月	前橋地区保稅会・通関協議会、物流業・倉庫業従事者、報道機関	29社	水際取締強化への協力依頼及び情報提供依頼を実施する。
	日本関税協会東京支部主催群馬地区講演会	3月	日本関税協会東京支部、前橋地区・保稅会ほか	約60人	最近の税関行政についての講演及び情報提供依頼を実施する。
群馬県中学校長会	薬物乱用防止対策「講演会」	年間を通じて適宜	生徒・保護者	約40,000人	啓発にかかわる研修会を学校・PTA・地域の健全育成団体等が共催して専門家を講師として招き、講話やDVD視聴等により学びの機会とする。
	薬物乱用防止に係わる授業実践	年間を通じて適宜	生徒	約15,000人	正しい知識と拒否する態度を育成することを目的に、教科や特別活動の年間指導計画の中に「健康な生活」「薬物の害」等を設定して授業を行う。
	学校保健委員会での研究発表会	年間を通じて適宜	生徒、保護者、教職員、学校医、学校薬剤師等	約15,000人	生徒、保護者、教職員、学校医、学校薬剤師で組織する会で、正しい知識に関わる研究発表・協議・情報交換を行う。
	薬物乱用防止資料（小冊子）による学習会	年間を通じて随時	生徒・保護者等	約15,000人	新入生を対象に小冊子を配布し、資料の内容について確認をする等啓発活動を行う。
	各郡市町村での月例生徒指導主事会議	毎月1回（各郡市の状況次第）	各校の生徒指導主事	約400人	心配される問題行動の一つとして薬物乱用について取り上げ、最新の指導方法などについて情報交換をする。
	中学校・高等学校生徒指導対策会議	県内47ブロック毎年1回	中学校・高等学校の校長、教頭、生徒指導主事、PTA会長等	約900人	中学校と高等学校が連携して、生徒指導上の問題について研究協議する内容の1項目として、研究会及び講演会等を実施する
	学校警察連絡協議会	年数回（各郡市の状況次第）	警察、児童相談所、市町村の子ども担当窓口、教育委員会、小・中学校長	約800人	警察、教育委員会、福祉関係職員、小・中学校長が集まり、心配される問題行動の一つとしての薬物乱用について、情報交換や指導方法についての協議を行う
群馬県高等学校長協会	健全育成教室（非行防止・薬物乱用防止等）	年間を通じ適宜	高等学校全生徒	約44,000人	県教育委員会及び高等学校長協会生徒指導委員会の協力を得ながら、各学校の実情に合わせて実施する
群馬県私立小・中・高等学校協会	薬物乱用防止教室・講演会・講話	7月13日	前橋育英高等学校	509人	外部講師による講話（1年生）
		7月	東京農業大学第二高等学校・中等部	1,839人	非行防止教室（全校生徒）

		12月16日	高崎健康福祉大学高崎高等学校	434人	薬物乱用非行防止教室（1年生）	
		5月1日	明和県央高等学校	261人	1学年	
		7月17日	樹徳高等学校	781人	薬物乱用防止講演会	
		3月19日	常磐高等学校	478人	薬物乱用防止教室（NPO法人群馬ダルク）	
		11月25日	関東学園大学附属高等学校	408人	薬物乱用防止教室（薬務課）	
		10月	新島学園	650人	薬物乱用防止教室	
		10月2日	樹徳中学校	138人	薬物乱用防止教室（外部講師）	
		ポスター掲示	通年	桐生第一高等学校	約1,300人	全校生徒職員
	通年		高崎商科大学附属高等学校		全校生徒	
	6月		共愛学園中学校・高等学校	963人	全校生徒職員	
	リーフレット等の配布	7月	共愛学園中学校・高等学校	339人	1学年保護者	
		4月	高崎商科大学附属高等学校		新入生、保護者	
		4月	東京農業大学第二高等学校・中等部	516人	1年生及びその保護者	
		2月		529人	高校3年生	
		通年	桐生第一高等学校	約3,000人	全校生徒及び職員	
		7月、12月	新島学園	650人	高校1年生～3年生	
		3月13日	高崎健康福祉大学高崎高等学校	430人	新入生保護者	
		保健の授業やホームルームの活用	5月16日	白根開善学校	39人	終業式等における薬物乱用防止に関する指導
	7月19日			39人		
	10月13日			40人		
	12月21日			40人		
	3月4日			40人		
	4月～		高崎商科大学附属高等学校		保健の授業内（高校1年生）	
	11月		東京農業大学第二高等学校・中等部	93人	中等部3学年	
	1月			516人	高校1学年	
	9月		新島学園	207人	保健の授業内（高校1年生）	
	（一社）群馬県専修学校各種学校連合会	薬物乱用防止講習会、DVD等の上映	5月～6月	中央医療歯科専門学校高崎校	28	学生
			6月	高崎ビューティモード専門学校	157	学生（新入生）
			5月28日	中央医療歯科専門学校	18	新入生
			7月6日～10日	群馬調理師専門学校	180	学生
			4月～5月	東日本製菓技術専門学校	78	新入生
			5月中旬～6月初旬にかけて1回実施する予定	中央スポーツ医療専門学校	27	学生 ※新入生を対象
			5月18日	群馬法科ビジネス専門学校	90	学生
			7月7日	大泉保育福祉専門学校	125	全学生
			ポスターの掲示	通年	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校	160

			東日本ブライダル・ホテル・トラベル専門学校	100	
			専門学校群馬自動車大学校	661	
			前橋文化服装専門学校	14	
			育英メディカル専門学校	280	
			専門学校中央農業大学校	25	
			東日本栄養医療専門学校	110	
			東日本調理師専門学校	101	
			藤仁館医療福祉専門学校	118	
			中央医療歯科専門学校高崎校	100	
			中央医療歯科専門学校	72	
			群馬県美容専門学校	230	
			群馬調理師専門学校	220	
			前橋医療福祉専門学校	500	
			群馬医療福祉大学附属医療福祉専門学校	50	
	オリエンテーションの活用	4月3日	大泉保育福祉専門学校	56	薬物乱用防止パンフレットを配布し、内容を解説する
		4月22日	群馬県美容専門学校	9	薬物乱用防止パンフレットを配布し、内容を解説する
		5月28日	中央医療歯科専門学校	18	薬物乱用防止パンフレットを配布し、内容を解説する
		4月3日	群馬医療福祉大学附属医療福祉専門学校	14	薬物乱用防止パンフレットを配布し、内容を解説する
		通年	東日本調理師専門学校	82	ホームルームにて注意喚起を行うようにする
		4月7日	群馬県美容専門学校	112	薬物乱用防止パンフレットを配布し、内容を解説する
		7月24日	群馬調理師専門学校	180	薬物乱用防止パンフレットを配布し、内容を解説する
	ポケットティッシュの配布	6月	高崎ビューティモード専門学校	157名	薬物乱用防止の評語入りポケットティッシュを学生分167個、配布予定
		5月～6月	中央医療歯科専門学校高崎校	28	薬物乱用防止の標語入りポケットティッシュを対象学生に配布する
		5月～7月	専門学校中央情報大学校	144	薬物乱用防止の標語入りポケットティッシュを配布する
群馬県私立大学協会	講座・講話等	7月2日	育英大学、育英短期大学	100人	防犯講座（警察署員による）
		11月11日	高崎健康福祉大学	300人	
		通年	群馬パース大学	1,589人	薬物乱用防止教室（オンライン）
		通年	群馬パース大学	1,616人	健康教育ガイダンス（オンライン）
	オリエンテーション等	4月4日	関東学園大学	約200人	薬物乱用防止リーフレットを配布し、内容を解説
		4月	関東学園大学1～4年生	約500人	
		5月	関東学園大学	約500人	
		4月2日	新島学園短期大学	150人	
		4月7日	上武大学	350人	

		4月7日	上武大学	115人	
		7月27日	上武大学	約70人	
		4月8日	高崎健康福祉大学	90人	
		4月13日	高崎健康福祉大学	80人	
		5月14日	高崎健康福祉大学	90人	
		5月25日	高崎健康福祉大学	90人	
		6月9日、16日	高崎健康福祉大学	90人	
		10月21日	高崎健康福祉大学	90人	
		12月15日	高崎健康福祉大学	90人	
		4月6日	高崎商科大学	300人	
		4月	東京福祉大学同短期大学部	150人（新生）	
		4月及び9月	東京福祉大学同短期大学部	900人	
	ポスターの掲示	通年	群馬医療福祉大学、同短期大学	800人	
			育英大学、育英短期大学	約100人	
			群馬未来大学、同短期大学	約800人	
			関東学園大学	約500人	
			新島学園短期大学	300人	
			上武大学	1,900人	
			高崎商科大学	1,200人	
			群馬パース大学	1,589人	
			東京福祉大学同短期大学部	900人	
	ポータルサイト掲示等	8月5日～9月15日	高崎商科大学	1,100人	ポータルサイトにポスターやリーフレットを掲示し注意を促す
		8月1日	群馬医療福祉大学、同短期大学	700人	
		通年	群馬パース大学	1,589人	
(公財)群馬県医師会	理事会	月2回	本会役員	25人	情報提供・共有を行う
	都市会長会議	月1回	都市医師会役員他	70人	同上
(公社)群馬県薬剤師会	理事等拡大会議	7月5日	役員	50人	県役員・支部長等に、支部推進員を中心とした活動を要請する
	関東甲信越静学校保健大会	8月6日	学校教員、学校医、学校薬剤師等	800人	薬物乱用防止に係る研究発表に参加する
	薬と健康の週間	10月17日～23日	県民	10,000人	薬と健康の週間中にイベント会場又は店頭で、啓蒙活動を行う
	学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	10月22日～23日	学校医、学校薬剤師、教職員	300人	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育部に参加する
	全国学校保健・安全研究大会	11月19日～20日	教職員、学校医、薬剤師、歯科医、教育委員会食品、PTA等	1,500人	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育課題に参加する
	会報	年4回発行	会員	1,200人	会報にて会員に啓蒙する
(一社)群馬県医薬品配置協会	「8月1日配置の日」献血活動	7月27日	けやきウォーク前橋	1,000人	買物客に薬物乱用防止啓発ポケットティッシュ配布
	標語入りゴム風船、ポケットティッシュ配布	通年	一般家庭	1,000人	標語入りゴム風船とポケットティッシュを携行して配置販売に従事訪問時に啓発活動をする

群馬県麻薬卸売業者協会	群馬県麻薬卸売業者協会総会	9月	協会員	10人	薬物乱用防止に関する研修会を実施予定
	群馬県麻薬卸売業者協会実務研修会	2月	協会員	9人	
群馬県保護司会連合会	各種啓発活動（ティッシュペーパーの配布等）	通年	県民 高校野球県予選球場等	多数	薬物乱用防止の標語入りポケットティッシュを配布する
	薬物乱用防止教室	通年	県内小中学校	多数	
	ダメ。ゼッタイ。普及運動「6.26ヤング街頭キャンペーン」	6月26日	県下12ヶ所保健所主催の街頭キャンペーン	多数	薬物乱用防止の標語入りポケットティッシュを配布する
群馬県地域婦人団体連合会	婦人団体運営研究集会・総会	6月12日	県内婦人会役員・会員	60人	薬物乱用対策について周知
	定例理事会	毎月1回	県内婦人会役員	21人	啓発用リーフレット配布
群馬県更生保護女性会	モデル地区活動詳細				
	太田地区	薬物乱用防止教室	6月～1月	市内小中学校生徒(7校)	約900人
	安中地区	薬物乱用防止教室	6月～2月	市内中学校生徒(3校)	約300人
		6.26ヤング街頭キャンペーン	6月25日	安中総合学園	約600人
		6.26ヤング街頭キャンペーン	7月中	駅利用者	約550人
	沼田地区	計画中			
ライオンズクラブ国際協会333-D地区	薬物乱用防止キャンペーン	通年	県民	5,000人	薬物乱用防止のパンフレット、ポケットティッシュ等を配布する
	ヤング街頭キャンペーン	6月	学生	2,000人	薬物乱用防止のパンフレット、ポケットティッシュ等を配布する
	薬物乱用防止教室	通年	小学生中学生高校生	4000人	薬物乱用防止教室を行う
	薬物乱用防止教育認定講師養成講座	9月	ライオンズクラブ会員	30人	「薬物乱用防止認定講師」の資格取得講座を行う
	薬物乱用防止教育認定講師上級講座	11月頃	薬物乱用防止教育認定講師取得者	20人	「薬物乱用防止教室」開催に向けて実践講座を行う
群馬県青少年育成推進会議	青少年健全育成運動	7月15日～8月31日 12月15日～1月31日 3月15日～4月30日	県民	多数	青少年健全育成に向けた県民総ぐるみ運動を実施するなかで、シンナー等薬物乱用防止気運の醸成について取り組む

(公財)群馬県防犯協会	H Pに薬物乱用防止を掲載	通年	県民	約1,000人	薬物乱用のない安全な社会を実現するための広報を群馬県防犯協会のH Pに掲載する。
	薬物乱用防止活動への支援	通年	地区防犯関係団体 各警察署	約1,000人	薬物乱用防止小冊子を、警察署等を通じ県民に配布する。
	広報誌に薬物乱用防止記事を掲載	年4回	市町村関係団体企業	2,000人	広報誌「防犯ぐんま」に薬物乱用防止について掲載する。
	防犯イベント会場等における啓発活動	年5回	県民	約1,000人	防犯イベント会場等において、冊子等を配布し薬物乱用防止を呼びかける。
(公財)群馬県交通安全協会	運転免許更新時講習	通年	講習受講者	88,000人	薬物乱用防止ポスター等を掲示
	行政処分者講習	通年	講習受講者	8,000人	〃
(一財)群馬県母子寡婦福祉協議会	第74 回母子家庭・寡婦福祉県民大会	11月28日	市町村母子会、関係機関	100人	啓発用リーフレット配布
	その他会議・行事等で配布	随時	役員、ひとり親家庭の親子等	50人	〃
群馬テレビ(株)	放送	6月中	県民	2,000人	取材を通して薬物乱用防止を訴える
メディアプロモーション課	県政広報紙「ぐんま広報」	6月7日	県民	455,500部(新聞折込、自治体、民間などで配布)	県政広報紙「ぐんま広報6月号」で、薬物乱用防止について啓発
	テレビ・ラジオ広報	6月23日	FM群馬聴取者	エフエム群馬聴取者	エフエム群馬「ぐんま情報トッピング」で、薬物乱用防止について啓発
消費生活課	ティッシュペーパーの配布	通年	高校生、専門学校生、大学生	100人	消費者教育公開講座、若者向け消費者被害防止出前講座を活用し、薬物乱用防止のポケットティッシュを配布する。
私学・青少年課	群馬県青少年健全育成条例講習会及び各種研修会等における啓発	通年	青少年担当の関係機関団体及び県民	全県民	群馬県青少年健全育成条例を周知する講習会等他機関が開催する研修会等の機会を捉え、薬物乱用防止を呼びかける
	「青少年の被害・非行防止全国強調月間」の実施	7月	県民	全県民	こども家庭庁が主唱する運動の中で「薬物乱用対策の推進」を重点課題の一つとして取り組む
	青少年健全育成運動(三季運動)の実施	夏 7.15～8.31 冬 12.15～1.31 春 3.15～4.30	県民	全県民	青少年健全育成に向けた県民総ぐるみ運動を実施する中で、薬物乱用防止気運の醸成について取り組む。
	秋のこどもまんなか月間	11月	県民	全県民	こども家庭庁が主唱する運動の中で「薬物乱用防止」を重点課題の一つとして取り組む。
	群馬県青少年育成大会事業	通年	県民	全県民	「少年の日」「家庭の日」推進運動の中で、薬物乱用防止を含めた環境浄化活動を推進する
	「青少年だより」による情報発信活動	随時	県内小中高校、特支高、教育委員会、補導センター等		違法薬物乱用防止に関する執務資料「青少年だより」を作成、関連部署に発出する
医務課	第36回群馬県「看護の日」記念行事 看護フェスタ2025	5月17日	県民 看護職員	1,500人	薬物乱用防止の標語入りポケットティッシュ 200個の配布

健康長寿社会づくり推進課	若年者からの喫煙防止講習会	通年	小、中、高校生、保護者及び学校保健担当者等	4,500人	講和、DVD鑑賞、パンフレット配配布等
	学生のための喫煙防止講習会	通年	県内大学、短期大学・専門学校等の生徒	200人	講演内容 「たばこの煙の有毒性について」 講師：県薬剤師会 講義形式又はYouTube配信
	受動喫煙防止対策研修	通年	行政関係者、医療機関、検診期間、事業者、学校関係者、保険組合関係者等	50人	講習内容「受動喫煙防止対策」（仮）
	禁煙支援県民公開講座	通年	県民		講習内容「受動喫煙防止対策」（仮）
	啓発物品（ポケットティッシュ等）の作成	通年	県民	26,200人	普及啓発に係る啓発グッズの作成
	受動喫煙防止及び禁煙に関する健康動画の配信継続	令和4年3月～	県民		動画の周知
	受動喫煙防止対策啓発動画の配信継続	令和2年5月～	県民		動画の周知
	世界禁煙デー・禁煙週間の普及啓発	5月～6月	県民県職員	約20,000人 約1,500人	ポスター掲示、地域FM放送での告知、上毛新聞への広告掲載
	たばこ対策推進会議	通年	委員（学識経験者、医療関係団体、健康保険関係団体、商工労働関係団体、食品・食品衛生関係団体、行政）	委員18名オブザーバー 4名 事務局 5名	健康増進法に基づく受動喫煙防止対策について、群馬県における対策を協議及び検討し、総合的効率的に推進する
地域福祉課	群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議（全体会）	2回	国機関、更生保護団体、その他関係団体、庁内関係各課室	33機関	再犯防止に関わる様々な機関のネットワークを構築し、有効な施策展開を図る。
	第76回“社会を明るくする運動”パネル展	7月1日～7月2日	県民	多数	パネル展を実施し、県民等県庁来庁者に対して啓発を図る（前橋保護観察所と共催予定）
障害政策課	群馬県依存症等対策事業費補助金	－	群馬ダルク	－	薬物依存症に関する活動を行う自助グループに対して、ミーティング活動や普及啓発活動の実施に要する経費を補助する。 群馬ダルク ・ミーティング活動（4回開催、参加予定人数：320名） ・情報提供（セミナーの開催。2回、参加予定人数：80名）
こころの健康センター	群馬県依存症相談拠点	通年	県民、関係団体	－	平成31年度から群馬県の依存症相談拠点に指定されており、相談支援体制の充実、関係機関や民間団体との連携強化、情報提供の充実等を図る

	依存症相談（来所、電話、メール）	○定期相談 第2火曜日、第3火曜日（偶数月）、第4水曜日 ○臨時相談 不定期 ○電話 年末年始祝日を除く 平日の9時～17時 ○メール 24時間受付（返信は1～2週間）	一般県民、関係機関職員等	定期相談40ケース 臨時相談10ケース 電話相談300ケース メール相談5ケース	家族や本人、関係機関からの相談を精神科医師や相談員が受け、助言や情報提供を行う
	依存症家族教室	第2火曜日	依存者の家族等	120人	依存症者の家族が本人へ適切な対応ができるよう、学習プログラムを実施する
	ぐんま〜ぶ	第1・3金曜日	依存症者	120人	物質使用障害治療プログラム（SMART P P）を一部改編した依存症再発防止プログラムを実施する
	薬物依存症支援者研修会	10月中旬	市町村、保福、医療機関、司法警察関係、相談支援事業所等	100人	検討中
	VBP	随時	薬物事犯者	若干名	同意が得られた保護観察中の薬物事犯者に対し、3年間のコホート調査をとおして、保護観察から地域支援へのつなぎを図る
	出前なんでも講座（依存）	随時	一般県民、関係機関職員等	100人	講座をとおして、依存症の基礎知識や支援方法を学ぶ機会とする
	前橋刑務所への講師派遣	奇数月第3木曜日	一般改善指導「依存症に係るフォローアップ指導」受講者	36人	前橋刑務所において受刑者に対しぐんま〜ぶ（依存症再発防止プログラム）を実施し、社会復帰後につながることでできる社会資源について周知する。
	依存症啓発ポスター、リーフレットの作成	－	県民	－	依存症啓発のため、資料を作成する。リーフレット7000部
教育委員会高校教育課	公立高等学校等副校長・教頭研究協議会	4月16日 他2回	公立高等学校・中等教育学校、県立特別支援学校の副校長及び教頭	113人	薬物乱用を含む問題行動防止対策等についての指示及び伝達を行う
	第1回公立高等学校等生徒指導対策協議会	4月17日	公立高等学校及び公立中等教育学校、県立特別支援学校の生徒指導主事（担当者）	106人	・薬物乱用を含む問題行動防止対策等についての指示及び伝達を行う ・薬物乱用を含む問題行動防止指導に関する協議を行う
	夏季休業中における生徒指導の徹底	7月	公立高等学校及び中等教育学校の全生徒	約36,000人	・夏季休業に当たり、薬物乱用を含む問題行動の防止対策等について各校への通知を行う ・各学校は、これに基づいて生徒の指導を行う
	第2回公立高等学校等生徒指導対策協議会	9月11日	公立高等学校及び公立中等教育学校、県立特別支援学校の生徒指導主事（担当者）	106人	・薬物乱用を含む問題行動防止対策等についての指示及び伝達を行う ・薬物乱用を含む問題行動防止指導に関する協議を行う
	冬季休業中における生徒指導の徹底	12月	公立高等学校及び中等教育学校の全生徒	約36,000人	・冬季休業に当たり、薬物乱用を含む問題行動の防止対策等について各校への通知を行う ・各学校は、これに基づき生徒への指導を行う

	第3回公立高等学校等生徒指導対策協議会	1月15日	公立高等学校及び公立中等教育学校、県立特別支援学校の生徒指導主事（担当者）	106人	・薬物乱用を含む問題行動の防止対策等について、指示及び伝達を行う ・薬物乱用を含む問題行動防止指導に関する協議を行う
教育委員会健康体育課	薬物乱用防止教育及び性・エイズ教育に関する指導者研修会（オンデマンド配信）	7月2日	国・公・私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教職員、薬物乱用防止教育指導者、行政及び学校関係職員の薬物乱用防止教育の講師等、並びに企画運営担当者等	約250人	指導していただく方とその企画運営を担当する方に、学校における薬物乱用教室の考え方や指導の進め方に関する講習を行った。
群馬県警察本部子供・女性安全対策課	薬物乱用防止教室の開催	通年	県内小学校・中学校・高校等、希望のあった学校	約20,000人	警察職員による講話の実施
	啓発資料の配布	通年	〃	〃	教室において対象の児童・生徒等に配布
	DVDの上映	通年	〃	〃	教室において警察が所有するDVDを上映
	薬物乱用防止広報活動の実施	通年	〃	〃	啓発資料の配布、パネル掲示、薬物乱用防止広報車を使用した広報活動の実施等
群馬県警察本部組織犯罪対策課	薬物事犯の恒常的な取締り	通年	違反者		乱用者の徹底検挙と薬物密売組織及び密売ルート の 解明 検挙 による 供給元 の 遮断
	薬物乱用防止のための広報啓発	年度中	県民	数千人	県、関係機関、団体との連携による広報啓発活動
		6月1日～7月31日	県民	数千人	薬物乱用防止うちわの配布
			県民	数千人	広報のしおり（県警広報係作成）、ぐんま広報、エフエム群馬「ワイドプレス」「ぐんま情報トッピング」等における広報啓発メッセージ等配信活動
			SNSフォローワー	数千人	Facebook、Instagram、XなどのSNSを利用した広報啓発情報の発信活動
		年度中	県民来場者	数千人	サッカーのプロチーム（ザスパクサツ群馬）の試合会場において、来場者に対する薬物乱用防止キャンペーン活動の実施。選手起用CM・ポスターを県内で放映・掲示する
		年度中	来日外国人	数千人	外国人共生対策の一環として薬物乱用防止講話の実施
		年度中	県民	数千人	学生、団体等に対する薬乱防止講演の実施

		年度中	県民	数千人	県内各警察署管内で行われる祭り会場、学校、競輪場、連絡協議会、駅、スーパー等の大型ショッピングモール等の来場者にチラシ、団扇などを配布し、薬物乱用防止啓発活動を実施。
前橋市保健所	6.26ヤング街頭キャンペーン	6月26日	通勤、通学者	2,000人程度	前橋駅における啓発物品の配布及び声かけ
	前橋まつりキャンペーン	10月10日	前橋まつり来場者	2,000人程度	前橋市内中心部において啓発物品の配布
	量販店キャンペーン（けやきウォーク前橋）	11月8日	量販店利用者	1,000人程度	来店者に対する啓発物品の配布及び声掛け
	教育機関（大学）への啓発	10月～11月	前橋国際大学 前橋工科大学など （4から5大学程度）	1,000人程度	当職から各大学の学務担当課へ以下を依頼 ・リーフレットの掲示 ・啓発物品配付（学生対象）
高崎市保健所	6.26ヤング街頭キャンペーン	7月5日	イオンモール高崎来店者	約1,500人	のぼり旗等の啓発資材の掲示 啓発品（ティッシュ）の配布 国連支援募金活動
	薬物乱用防止教室	7月～2月頃	市内小中学校生徒及び保護者（10校程度）	約1,500人	パワーポイントや啓発用DVD等を用いた講義
	薬物乱用防止キャンペーン（薬物乱用防止キャンペーンIN 農業まつり）	11月22日	農業まつり会場来場者	約1,000人	のぼり旗等の啓発資材の掲示 啓発品（ティッシュ）の配布
薬務課	薬物事犯の取締り	随時	違反者		県警察本部や厚生労働省麻薬取締部と連携して薬物乱用者の指導・取締りを行う
	不正大麻・けし撲滅運動	5月～7月	県民	多数	不正栽培と自生のおおぐさ・けしの発見・抜去と広報活動等を行う。リーフレットによる広報を実施する
	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 ①6・26ヤング街頭キャンペーン ②地域団体キャンペーン	6月20日～7月19日 ①6月26日前後 ②運動期間中	県民	多数	①薬物乱用防止指導員を主な構成員とする「ダメ。ゼッタイ。」地区推進連絡会議が中心となって、通学途中の高校生等を対象とした駅前キャンペーン等を実施する。 ②薬局・飲食店等にポスターを掲示し、一声運動を実施する。
	麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動	10月～11月	県民	多数	麻薬・覚醒剤等の害について知識を普及する
	麻薬卸売業者協会研修会・実務研修会	9月、2月	麻薬業務担当者	9社	麻薬等の取扱い・流通管理の適正化について指導する
	薬物乱用防止教室等への講師派遣	通年	小・中・高校生、県民等	多数	講習会や学校での薬物乱用防止教室等へ講師を派遣する
	麻薬取扱施設監視	通年	麻薬取扱者	500施設	麻薬の取扱い・保管管理等の指導と取締りを行う
	向精神薬取扱施設監視	通年	向精神薬取扱者	500施設	向精神薬の取扱い・保管管理等の指導と取締りを行う
	覚醒剤・覚醒剤原料取扱施設監視	通年	覚醒剤取扱者 覚醒剤原料取扱者	500施設	覚醒剤、覚醒剤原料の取扱い・保管管理等の指導と取締りを行う

薬物乱用防止指導員による活動	通年	地域住民	多数	県・市町村が行う薬物乱用防止施策に協力するとともに、日常活動を通じて、地域住民等に薬物乱用の弊害と実態などについての知識の普及啓発を図る
保健福祉事務所薬物乱用防止対策班による活動	通年	地域住民	多数	保健福祉事務所に設置されている対策班が、様々な啓発活動を実施する
薬物乱用防止啓発用DVDの貸出	通年	県民	多数	薬物乱用防止啓発用DVDを購入し、視聴希望者に貸出する
薬物相談窓口業務	通年	県民	多数	こころの健康センター、保健福祉事務所、中核市保健所、薬務課が地域住民からの薬物相談を受ける。また、相談窓口について県民への周知を図る
薬物乱用防止の広報	通年	県民	多数	関係機関と連携し、ラジオ、テレビ、デジタルサイネージ(電子広告)、新聞、広報誌等への広報活動を実施する
超速戦隊G-FIVEと連携した啓発活動の実施	通年	県民	多数	NPO法人グレート群馬ネットワークと連携し、ローカルヒーロー「G-FIVE」関連イベントでの広報啓発、キャラクターを活用した資材の作成配布を行う
危険ドラッグ対策	通年	—	—	危険ドラッグを販売するサイト等を監視し、必要時には警察本部と連携した立入調査・指導及び買上調査を行う
若年層への広報啓発	通年	県民	多数	若年層向け薬物乱用防止に関する啓発資材を作成し、効率的に配布することで、若者に向けて薬物の危険性、有害性の周知を行う
大麻等薬物乱用防止啓発資材(リーフレット、ポケットティッシュ)の作成	通年	一般県民(主に青少年)	リーフレット約30,000部 ポケットティッシュ約200,000個	大麻等薬物乱用防止啓発資材を独自に作成し、リーフレットは中学3年生へ配布、ポケットティッシュはキャンペーンや薬物乱用防止教室等において配布する
群馬県薬物の濫用の防止に関する条例に基づく知事指定薬物の指定	必要時	—	—	法律で規制されていないものの、規制薬物と同等以上に身体に危険な薬物を「知事指定薬物」として県独自に指定する